

第1回 函館市病院事業経営強化プラン評価委員会
会議録

○開催日時：令和7年(2025年)3月19日(水) 13:30～14:20

○開催場所：市立函館病院精神棟2階大会議室

○出席者

〔委員〕

小西委員，椎谷委員，石樽委員，佐々木委員，熊谷委員，浜田委員

〔函館市病院事業経営強化プランアドバイザー〕

望月先生（公益社団法人全国自治体病院協議会会長）

〔事務局〕

氏家病院局長，森下函館病院院長，石川恵山病院院長，加藤南茅部病院院長，
深草管理部長，三浦経理課長，鎌田経理係長，片石主任主事

.....

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 委員紹介

4 議題等

(1) 委員長の選任について

(2) 委員長職務代理者の指名について

(3) 函館市病院事業経営強化プラン点検・評価について

5 その他

6 閉 会

..... 1 開 会.....

(事務局 三浦経理課長)

ただ今から第1回函館市病院事業経営強化プラン評価委員会を開催させていただきます。委員会の開催にあたりまして、病院局長の氏家より、ご挨拶を申し上げます。

..... 2 挨拶.....

(氏家病院局長より挨拶)

..... 3 委員紹介.....

(委員等の紹介)

..... 4 議 題 等.....

(事務局 三浦経理課長)

本日は、委員就任後、初めての会議でありますので、委員長が選任されるまでの間、事務局が議事の進行を努めさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

意義がありませんので、そのように進めさせていただきます。

本日の出席は、委員総数6名、すべての委員が出席をしておりますので、設置要綱第6条第3項に基づき、本委員会が成立していることをご報告いたします。

(1) 委員長の選任について

(事務局 三浦経理課長)

設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員長は委員の互選により選出することとなっており、事務局から提案したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

事務局の案として、当院の査定対策ワーキンググループでオブザーバーとしてもご尽力をいただきました「小西委員」に、委員長をお願いしたいと存じますが、皆様、よろしいでしょうか。

(異議なし)

小西委員はいかがでしょうか。

(小西委員)

了承いたします。

(事務局 三浦経理課長)

委員長は小西委員に決定しました。小西委員は席のご移動をお願いいたします。

(小西委員は委員長席に移動)

この後の進行につきましては、小西委員長をお願いします。

(2) 委員長職務代理者の指名について

(小西委員長)

本日の議題について、次第に沿って進めます。

委員長に事故等がある場合の職務を代行する委員について、設置要綱第5条第4項の規定に基づき、私から指定いたします。委員長職務代理者には、「椎谷委員」をお願いしたいと思います。椎谷委員、よろしいでしょうか。

(椎谷委員了承)

椎谷委員、よろしくをお願いいたします。

(3) 函館市病院事業経営強化プラン点検・評価について

(小西委員長)

次に「函館市病院事業経営強化プラン点検・評価について」です。昨年、策定された経営強化プランですが、今回は評価委員会の第1回目ということで、点検・評価・公表にあたっての説明や令和5年度決算の概要など点検・評価とあわせて、事務局から資料が提出されておりますので、事務局から説明をお願いします。

(事務局 三浦経理課長)

(資料 函館市病院事業経営強化プラン点検・評価報告【令和5年度】に基づき説明)

(小西委員長)

ただいまの説明に対しまして、質問や意見などございましたら、ご発言をお願いいたします。

(石樽委員)

新型コロナウイルス感染症の補助金はどの程度減少し、いくら確保できたのか。コロナ関連補助金がどのくらいのインパクトがあるのか、市民の方も気になると思うので、公表される資料等にも記載した方が良いと思います。

(事務局 三浦経理課長)

令和5年度において、新型コロナウイルス感染症補助金として約8億円確保したところです。

(事務局 氏家病院局長)

最終的には令和5年度で8億円程、前年度(令和4年度)は約30億円いただいております。

函館病院だけでみると令和5年度では、コロナ補助金を除いても単年度資金過不足額は少しプラスとなっています。

市民の方々への周知については、毎年度決算確定後に決算書を函館市のホームページに公表しており、どのような補助金収入があったかなど記載しておりますので、見ていただければと思います。

(小西委員長)

4ページの函館病院の収支計画では、令和5年度は最終的にプラスになっているが、収益的収入は見込みより実績が少なく、一方で支出も同じように少なくなっています。最終的にプラスを維持できたのは、大幅な診療報酬改定があったのは令和6年度からなので、令和5年度は病院の自助努力の成果として支出を減少させて、結果的には収益を維持出来たという解釈でよろしいでしょうか。

(事務局 三浦経理課長)

収入の減よりも支出の減の方が大きいということと、現金ベースでは最終的に見込みより単年度資金では7億4千万円程増加したところです。

(小西委員長)

収益を確保するためには、収入を増やし支出を減らすということが基本的な考えだと思いますが、収入において医療の場合は保険制度に揺さぶられるので、令和5年度の評価を公表する際は、支出面での病院の努力などを文言で示すことで職員も励みになるのではないかと思います。

また、令和6年度についても病院の努力を市民に周知する事も重要だと考えています。

(事務局 森下函館病院院長)

令和5年度は、インフレに伴い民間企業も賃上げをしているのはご存知だと思いますが、函館病院では想定よりも給与費の支出が少なくすみしました。

材料費についてもインフレの影響や、高度先進医療を行うため輸入した医療材料を使用していることから円安により高くなっています。令和5年度はそれほど影響が出ませんでした、令和6年度、7年度では強く影響してくると思います。

令和6年度は新規の患者数を1.5%以上増やしましたが、支出が3%以上増えているというところで赤字転落は必至ですが、その辺は本日アドバイザーとしてご出席されている望月先生も記者会見でおっしゃっていたとおり、函館病院だけではなく全国的にこの病院も苦しいという状況に今後なっていくだろうということだけご理解ください。

(佐々木委員)

令和5年度の実績で経費の中の修繕費関係がいくらあるのかをお聞きしたい。やはり材料費は必要になるので、当然ですが優先順位は修繕費を後回しにしようとする認識があると思います。ただ、建物自体は平成12年に竣工し、耐用年数の半分ぐらい経過していることから、施設の長寿命化に向けた取組が行われているのか、今後建替え時に必要な解体経費などを減価償却費分から貯蓄できているのか、そういった観点から質問をしました。

(事務局 三浦経理課長)

修繕費の関係ですが、通常の修繕とは別に令和6年度では大規模な修繕として2億円程を計画上盛り込んでいます。その中には空調設備や、後年次ではありますが発電機等の大規模修繕なども予定しており、計画どおり実施したいと考えています。

(望月アドバイザー)

減価償却費は、内部留保として溜まると思いますが、減価償却費が溜まった分が最後の資金過不足額に入ってきているのでしょうか。

(事務局 三浦経理課長)

はい、そうです。

(望月アドバイザー)

先ほどの質問に対しては内部留保として現金が50億円ぐらいあるという事でよろしいですか。

(事務局 三浦経理課長)

はい、そうです。

(望月アドバイザー)

起債を発行して建物を建てており減価償却費は内部留保されていくので、そういう意味では民間と違う会計ではあるが、令和5年度末において資金を沢山確保していることは良いことと思います。

(事務局 氏家病院局長)

少しだけ追加します。函館市病院局では6年前まで赤字体質であり、資金不足比率は20%程ありまして、非常に危ない経営でした。その後、経営努力した事と新型コロナ感染症の補助金もあり、なんとか病院運営しておりましたが、その間、日常の修繕はなかなかできておりませんでした。今後、必要な修繕や更新を行うため、計画的に内部留保している資金を使用しながら、施設の長寿命化を図っていきます。

(望月アドバイザー)

令和5年度に関しては、項目ごとの評価もA、Bが多く非常に頑張られているのではないかと思います。

令和6年度以降は、現在のようにインフレ基調になった場合、公定価格である診療報酬では転嫁できない状況であることから、公、民間問わず病院経営は厳しい収支となることが予想され、少し前に自治体病院協議会で調査した段階では8割以上の病院で経常収支が赤字とのことです。民間病院も同じような状況であり、診療報酬期中改定といった、2年間経たずに診療報酬を改定して欲しいという声もあります。

また、あまり数字として出てきませんが消費税の問題もあり、今すべての物の値段が上昇しており、それらの購入のすべてに消費税を支払っていますが、先ほど述べたように円安の影響で輸入した診療材料費が凄く上がっています。価格も高くなると、その分の消費税の支払も増えます。消費税の負担率は、5年前とくらべて約5割増えています。問題なのは最終消費者が負担するのが消費税なのに、患者様や保険者からは消費税をもらえていないことです。患者様から見ても請求書に消費税と書いていないのです。診療報酬に消費税が補てんされているというのが、それはどこに入っているか全然わからない状況です。消費税が補てんされていないということが、今後、大きな問題となってくると思います。特に急性期病院ほど令和6年度は赤字額が膨らんできています。今日は令和5年度のお話なので令和6年度まで踏み込む必要はないが、令和6年度はどこの病院も厳しい状況にあります。

質問なのですが、3つの病院で病院事業ということで、恵山病院は60床の病院であり全て療養病床でやっているのでしょうか。

(事務局 氏家病院局長)

はい、全て療養病床です。

(望月アドバイザー)

地域包括ケア病床を入れる予定はないのでしょうか。

(事務局 氏家病院局長)

地域的に函館市から約1時間離れています。そこに急性期病棟から患者様を転院させるのは難しいですが、恵山病院は地域内でも数少ない透析患者の受け入れが可能な病院であることから、一定の需要はあるものと考えており、病院利用者のニーズを踏まえながら検討していきます。これまでは、3病院それぞれの考えで病院運営をしていましたが、2年前くらいから病院局として函館病院を中心に人材派遣や、各病院の方向性など

を検討し、実施しているところです。

(望月アドバイザー)

1日平均診療単価が2万円程度ということで、療養だとその位の単価となるが、包括ケア病床ですと診療単価が約3万円程度となるので検討されてはいかがでしょうか。

(小西委員長)

他にないようであれば、本日の議題は以上となります。

次回のスケジュールを事務局からお願いします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 そ の 他・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(事務局 三浦経理課長)

次回の委員会につきましては、本年10月頃の開催を目途に日程を調整したいと考えております。

ご多忙の時期ではございますが、ご協力のほど宜しく願いいたします。事務局からは以上でございます。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 閉 会・・・・・・・・・・・・・・・・・・